

3 授業の中で取り組む

子どもたちの誰もが「自分ができる」を実感していくために、EYE ♥ TIME の時間にビジョンの土台づくりを行うとともに、**日常の授業の中で学習内容に関連させたトレーニングを実施**しました。その結果、教科等の学習の中で、ビジョンが原因でつまずいていることが改善され、学習意欲が高まってきました。

単元や1単位時間の授業に、どのようなビジョントレーニングが有効かについては、模索、発見、反省の連続でした。以下に本校が進めてきた設定の視点を示しました。

<授業の中にビジョントレーニングを設定する際の視点>

- ① 教科の特性、学習内容を確認し、ビジョン(視覚)を必要とする機会を選定して、計画を立てました。
- ② ビジョンが弱いために、子どもがつまずきを多く起こしている活動場面に取り入れました。
- ③ 学習内容の定着を図るために、「見る」という活動が有効な場面に設定しました。
(例) 英語 色の単語の習得・・・ COLORに関する様々なビジョントレーニングを開発
- ④ 教師が収集したビジョントレーニングの内容につながるような学習活動の場面を想起しました。

■ 単元計画に合わせたビジョントレーニング

事例1 第4学年 音楽「歌声のひびきを感じ取ろう～歌劇『魔笛』からパパゲーノとパパゲーナの二重唱～」

次	1	2	3
学習活動	旋律のリズムを手拍子で打ったり、スキップなどの体の動きで表したりする。	旋律の掛け合いや重なりを感じ取る。	音を選んで副次的な旋律の最後の4小節をつくる。 つくった旋律を階名唱したり、リコーダーで演奏したりして確認する。
ビジョントレーニング	・音符あて ・3時のおやつゲーム ・音符・休符さがし ・リズムあて ・リズム打ち	・音符あて ・3時のおやつゲーム ・旋律の動きあて	・音符あて ・3時のおやつゲーム ・リズムさがし ・リズム読み ・音符・休符書き

事例2 第3学年 算数「あまりのあるわり算」

次 時間	1					2	3
	1	2	3	4	5	6	7
ねらい	除法と商が1位数の除法で、わり切れない場合の計算の仕方を理解できるようにする。	余りと除数の関係を理解できるようにする。	等分除の計算についても、包含除の計算の方法を基に考え、説明することができるようにする。	わり切れない場合の除法の計算について、答えの確かめ方を理解できるようにする。	わり切れない場合を含む、除法の計算をできるようにする。	余りのとらえ方について理解を深めることができるようにする。	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値付ける。
ビジョントレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての瞬間視 ・〇こずつにまともよう ・九九練習プリント ・わり算練習プリント ・計算フラッシュカード ※習熟コースの実態に応じて1～2つ実施。						

毎回の授業で同じようなビジョントレーニングをするので、自分の成長が実感できるよ!



◆吹き出しの解説

子どものつぶやき、気づきの言葉

教師が子どもに掛ける、認める、称賛するなどの言葉

教師の気づき、感想、ビジョンや評価の計画

合奏の時には、音符がよめるようになったよ!!



余りがいくつになるかが分かりやすかったよ。何度かまとめていくうちに、速く正確にできるようになってきた!!

児童写真

児童写真

事例1 音楽 音符あて

楽譜に示された音を瞬時に答える。

事例2 算数 〇こずつにまとめよう

わり算の式をもとに〇個ずつ囲み分け、商や余りを求める。

前回よりも手をたたく回数が増えました。ゲームの中でもボールキャッチが上手になりましたね。



長い文も覚えることができました。集中力も高いですね。

児童写真

児童写真

体育 高〜いキャッチ

上にあげたボールを自分でキャッチする。難易度を上げて行く。手をたたく→しゃがむ→回転

各教科 めあての瞬間視

本時のめあてを10秒間で覚える。(10秒めあてを隠して)ノートに書く。

■ 1 単位時間に合わせたビジョントレーニング

事例 1 第3学年 算数「あまりのあるわり算」

学習活動	関連するビジョントレーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を把握し、立式する。 ・答えの表し方（余りの処理）について考える。 	〇こずつにまとめよう イラストを同じ数ずつ線で囲んでまとめていく。囲み終わったら「△組になって□こ余る」「全部で〇こある」などの答えを記入する。描いた線がイラストに重ならないように気を付けて描く。

事例 2 第4学年 国語「場面の様子をくらべて読み、感想を書こう。」(物語文『一つの花』)

学習活動	関連するビジョントレーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・単元のめあてを確認し学習の見通しをもつ。 ・教師の範読を聞き、初発の感想をもつ。 	キーワード探し 「食べ物」、「町の様子」など、提示されたテーマに該当する言葉に、サイドラインを引きながら確認し、場面の様子や情景などを捉える。

事例 3 第4学年 国語「登場人物の変化を中心に読み、物語を紹介しよう。」(物語文『プラタナスの木』)

学習活動	関連するビジョントレーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・場面を音読し、その時に感じたことを考える。 	ペア速読 30 秒程度の時間で、教科書の本文を読む。ペアで聞き合い、正しく読めているかを確認め合う。

事例 4 第6学年 体育「跳び箱運動」

学習活動	関連するビジョントレーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・単元のめあてを確認し、補助運動を行う。 	跳び箱にのってみよう 手を着く位置をよく見て確認し、手で押して跳び箱に乗る。またがるだけでなく、正座で乗ったり足の裏を着いたりすることで、開脚跳びや抱え込み跳びにつなげる。

事例 5 第1学年 音楽「せんりつでよびかけあおう」

学習活動	関連するビジョントレーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・短いフレーズのつなげ方の特徴に気付き、簡単な旋律をつくる。 	リズム遊び 「たん・たん・たん・うん」のリズムで歌ったり手拍子をしたりする。スクリーンに提示するマークの種類によって手や足で拍子を取ったり、歌声の大きさを変えたりする。

事例 6 若竹学級 第1・2学年 算数「10よりおおきいかず」

学習活動	関連するビジョントレーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを線で消したり、〇で囲んだりして、「10」と「いくつ」という形で数える 	雪玉数えゲーム 袋に入ったフェルト玉を 10 マスの箱に入れることで、10のまとまりを視覚的に捉え、10のまとまりといくつという形で数える。

プリントが右斜め前に傾いているな。左や手前の方に眼を動かすことが、得意ではないかも…。体に正対して取り組ませれば、トレーニングの効果上がるぞ。

児童写真

事例1 算数 〇こずつにまとめよう

縦の追従が得意ではなかったから、良いトレーニングになるかもしれないな。キーワードを探せたら、できたことを褒めよう。

児童写真

事例2 国語 キーワード探し

30秒間集中して速読できる子どもが増えてきたな。もう少し時間をとって取り組ませてみようかな。

児童写真

事例3 国語 ペア連続

目線が下がっていることで体が上がっていないな。何か目印になるものを置いて目線を上げさせてみようかな。

児童写真

事例4 体育 跳び箱にのってみよう

手で拍子をとれてきたから、次は足も使ってみよう。マークの種類も増やすことも試してみようかな。

児童写真

事例5 音楽 リズム遊び

雪玉の数を数えることで、10のまとまりを意識できている。成長が見られて嬉しいな。

児童写真

事例6 算数 雪玉数えゲーム

■ 教師の言葉掛け

「指示する言葉」から「称賛する言葉」へ

子どもへの称賛の言葉や励ましの言葉は、活動への意欲を生み出します。しかし、教える側の習慣として、「きちんとやらせよう」「成功体験を積みませよう」と思うあまり、「指示する言葉」「注意する言葉」が多くなりがちです。ビジョンの研修会や研究授業の際に、「できていなくても、それでいいよと認める」「もっとこうしよう、ああしよう、は言わない」「できたときに、成長を褒める」ということを講師から指導されていても、それを実践することは容易くはありませんでした。

そこで、指導計画を立てる際に取り入れたビジョントレーニングに合わせて、どんな「称賛する言葉掛け」ができるかを考えてみることにしました。思いついたことや自分が実践した言葉掛けを、教師の間で共有していくと、次のように分類することができました。

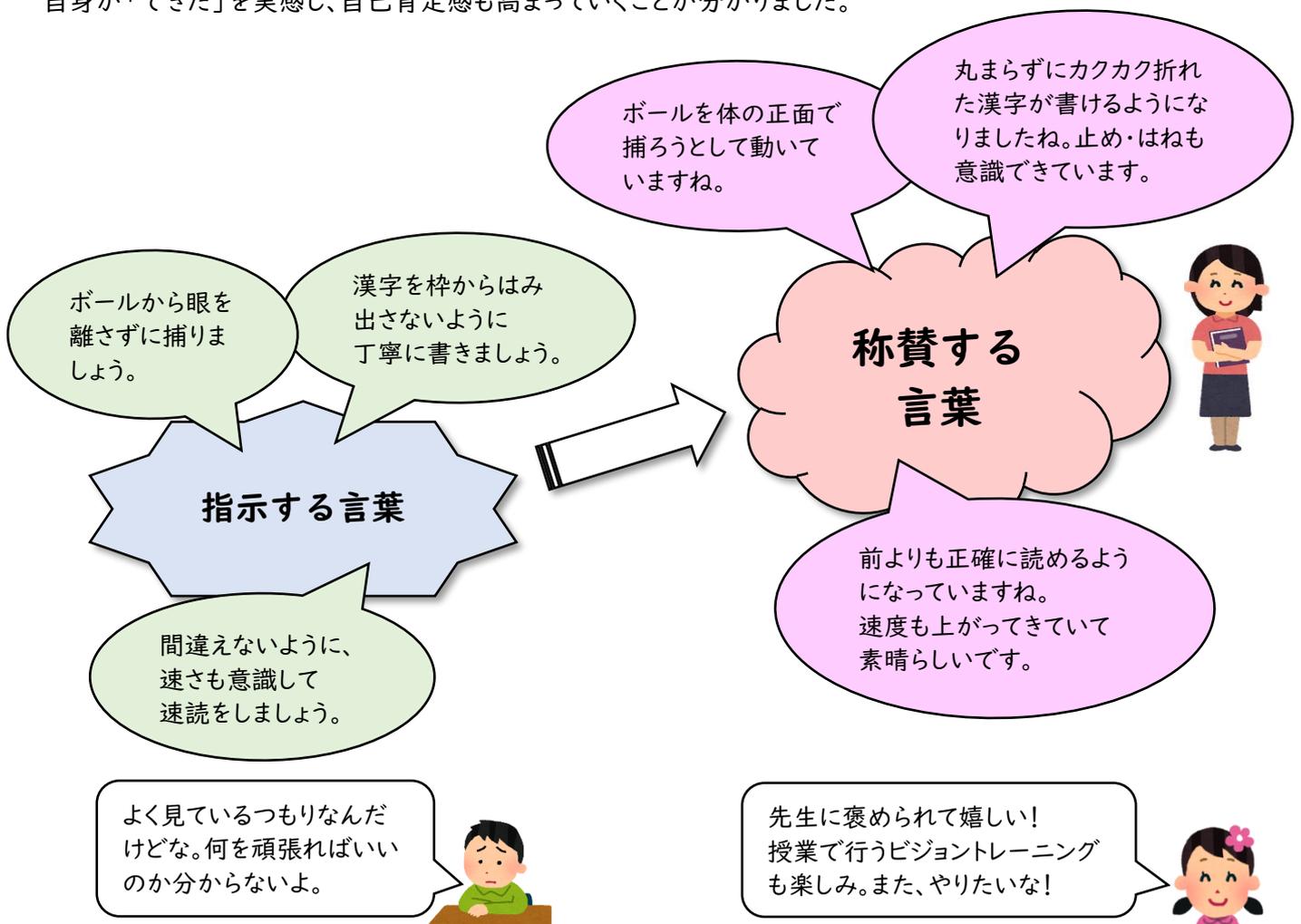
★成長を認める・・・「前よりも～ができるようになりましたね。」

●気付きを認める・・・「〇〇と△△との違いを見付けることができました。」

▼しっかり見たことを認める・・・「～から眼を離さずに見続けていましたね。」

うまくできてない状態のときには、「頭を動かさずに EYE 棒を眼で追いかけてようと頑張っていますね」というように、まずは、子どもがやろうとしていることを褒めるようにしていきました。

「見る力」は、個人差が大きく現れます。そして、ビジョントレーニングは、教科学習と違い、ゴールはありません。子どもの状態を教師が把握し、ほんの少しでも変化や成長が見られたときに称賛することによって、子ども自身が「できた」を実感し、自己肯定感も高まっていくことが分かりました。



カードの色を正しく答えることができました。(▼)

児童写真

称賛する言葉掛け

- ★成長を認める
 - 気づきを認める
 - ▼しっかり見たことを認める
- の3つを、頭において言葉を掛けるようにしました。



細かい違いを見比べて、プリントを進めることができていますね。(●)

児童写真

前は3個でしたが、今回は5個も覚えることができました。(★)

児童写真

〇〇と△△の違いによく気が付きましたね。(●)

児童写真

児童写真

のりを丁寧につけることができています。前よりも短い時間でできるようになりましたね。

